

1 トウガシ

2 生葉の性状の項を次のように改める。

3 生葉の性状

4 1) *Benincasa cerifera* に由来 本品は扁平な卵形～卵円形
5 を呈し、長さ10～13 mm、幅6～7 mm、厚さ約2 mm、一
6 端はややとがり、へそ及び発芽口の部分が2個の小突起とな
7 っている。表面は淡灰黄色～淡黄褐色を呈し、周辺にそって
8 隆起帯がある。表面をルーペ視するとき、細かいしわ及びへ
9 こみを認める。

10 本品はにおいがなく、味は緩和でわずかに油様である。

11 本品の中央部横切片を鏡検 (5.01) するとき、種皮の最外
12 層は1細胞層の柵状の表皮からなり、隆起帯に相当する部位
13 で明瞭である。表皮に内接する下皮はやや厚壁化した柔組織
14 からなり、その内側は数細胞層の石細胞からなる。種皮の最
15 内層は数細胞層の柔組織である。周乳はクチクラでおおわれ、
16 数細胞層の柔組織からなる。内乳は横に長い細胞が一行に配
17 列する。子葉は油滴、アリューロン粒を含み、でんぷん粒を
18 認めることがある。

19 2) *Benincasa cerifera forma emarginata* に由来 本品は扁
20 平な卵形～楕円形を呈し、長さ9～12 mm、幅5～6 mm、厚
21 さ約2 mm、へその付近は1)と同様であるが、表面は淡灰黄
22 色を呈し、平滑で、周辺には隆起帯がない。

23 本品はにおいがなく、味は緩和でわずかに油様である。

24 本品の中央部横切片を鏡検 (5.01) するとき、種皮の最外
25 層は薄いクチクラでおおわれた1細胞層の表皮で、しばしば
26 脱落している。表皮に内接する下皮はやや厚壁化した柔組織
27 からなり、その内側は数細胞層の石細胞からなる。種皮の最
28 内層は数細胞層の柔組織である。周乳はクチクラでおおわれ、
29 数細胞層の柔組織からなる。内乳は横に長い細胞が一行に配
30 列する。子葉は油滴、アリューロン粒を含み、でんぷん粒を
31 認めることがある。

32

33